

事務事業調書

平成27年度

事業No	291	課	子ども課	係	子ども係	起案者	瀬口久美子
						決裁者	杉浦多久己
事務事業名	保育園事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 3 子育て支援 2 保育サービス			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		15-10-15		
				総合計画以外の計画		子ども・子育て支援事業計画（H27～）		
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの			
根拠法令	有	児童福祉法第24条						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	その他(医療法人)					
実施期間	開始	昭和23年度	経過	67年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	仕事や病気などのため、児童を保育することができない保護者が、			～になる	保育を任せることができる。		
事務事業の内容	仕事などの事情により家庭で保育ができない児童を預かるために設置した、公立保育所23園の運営及び管理をしています。							
改善・対策の履歴	平成21年7月から医療法人に委託する方法により、病児・病後児保育を開始しました。 平成21年度及び22年度に、園舎の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り付けました。 平成23年7月から、第3子以降の保育料無料化を実施しました。 平成25年度及び26年度には、各園の定員を弾力的に増減することにより、昨今特に増大する低年齢児の入所希望に対応しました（定員総数は変更なし）。 ニーズに合わせて保育サービスの内容を充実させ、保護者が仕事を持つ世帯が安心して子育てできる環境整備を図っています。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,643,934	2,771,728	2,968,989	2,906,439	3,020,107
財源計	942,304	996,388	1,127,184	1,064,634	1,165,198
財源の内訳	国庫支出金	5,307	0	3,235	2,082
	県支出金	28,533	21,085	37,401	45,095
	市債	0	0	0	0
	その他	673,580	676,895	706,700	705,268
	一般財源	234,884	298,408	379,848	312,189
受益者負担金	671,580	676,895	621,700	705,268	642,800
職員人件費 (従事職員数)	1,701,630 (270.10)	1,775,340 (281.80)	1,841,805 (292.35)	1,841,805 (292.35)	1,854,909 (294.43)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	保育事業	見込	36,500.00	37,600.00	38,000.00	38,000.00
			実績	37,592.00	37,991.00	37,902.00	
	指標名 (単位)	児童数（公立）（人）	活動の総事業費（千円）	2,643,934	2,771,728	2,906,439	
			活動にかかるコスト（千円）	70.33	72.96	76.68	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費（千円）				
			活動にかかるコスト（千円）				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費（千円）				
			活動にかかるコスト（千円）				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	公立保育園入園待機児童数(人)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	特別保育事業実施園数（公私立）(園)			目標	31.00	31.00	31.00	32.00
				実績	35.00	35.00	35.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	32.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	日ごろから保育士の目が行き届いていたことにより、児童に大きな事故や怪我がありませんでしたので、基本的な目標とする安全安心な保育が実施できたものといえます。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	主に次のような要因により職員の人件費が増加したため、活動コストが上昇しました。 ①年度当初、年度途中いずれも低年齢の入所児童数が増加していることから、必要に応じて臨時保育士の採用を行いました。 ②就労形態の多様化、女性の社会進出、核家族化の進行等に伴い、特別保育の中でも特に保育士数を必要とする長時間の延長保育や休日保育の利用者が増加傾向となっています。
成果	上の①及び②のような要因（保育ニーズ）に適切に対応したことにより、待機児童ゼロを継続できました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
入所児童の数や年齢の構成、児童の入所する時期などに合わせて効率的な職員の雇用、配置等をしていくとともに、ますます多様化する保育ニーズに対応するため、効果的な特別保育の実施方法について検討していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	この事業の利用者層を考えると、待機児童数ゼロを継続することが有効な支援策となっていると考えられます。したがって、引き続きこれを最優先の目標とし、様々な保育ニーズへの対応の必要性和活動コストとの関係を意識しつつ事業を継続します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	1078	課	子育て支援課	係	庶務係	起案者	服部由佳理
						決裁者	神谷徹
事務事業名	保育園事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 3 子育て支援 2 保育サービス 2 保育内容の充実				予算科目(会計)		一般会計	
					予算科目(款・項・目)		15-10-15	
					総合計画以外の計画		次世代育成支援行動計画	
					関連する総合計画の施策			
					性質区分		市の内部事務事業	
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営		委託先					
実施期間	開始	昭和23年度		経過	67年目		終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	仕事や病気のため、昼間に児童を保育することができない保護者が				~になる	保育を任せることができる。	
事務事業の内容	仕事や社会活動と子育て支援が両立できるよう、公立23園の運営管理を行い、保育サービスの内容を充実します。							
改善・対策の履歴	各園の施設状況を調査し、必要に応じて施設修繕を実施しました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	99,914	55,326	61,405	54,300	54,998
財源計	96,764	52,176	56,995	52,095	53,108
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	96,764	56,995	52,095	53,108
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)	4,410 (0.70)	2,205 (0.35)	1,890 (0.30)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	保育事業	見込	36,500.00	37,600.00	380,000.00	380,000.00
			実績	37,592.00	37,991.00	37,902.00	
	指標名 (単位)	児童数（公立）（人）	活動の総事業費（千円）	99,914	55,326	54,300	
			活動にかかるコスト（千円）	2.66	1.46	1.43	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費（千円）				
			活動にかかるコスト（千円）				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費（千円）				
			活動にかかるコスト（千円）				

4 成果指標と実績の推移			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名（単位）		目標	45.00	46.00	46.00	46.00
	保育園遊具点検（回）		実績	45.00	46.00	46.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	達成	達成	達成	
		0.00					
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	日ごろから保育士の目が届いていたことや適切な施設修繕を実施したことで、児童に大きな事故や怪我がありませんでしたので、基本的な目標とする安全安心な保育環境の確保ができたといえます。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	公立保育園に入所する児童のべ数（毎月の児童数の累計）に対する事業費としています。
成果	修繕を必要とする保育園に対し、適切に対応することで安全安心な保育環境の確保を図ります。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
保育施設の保全を実施するために関係各課と協議し、長期的な施設保全計画を作成していきます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	様々な保育ニーズへの対応を含め安全安心な保育環境を確保するため、保全の必要性和活動コストとの関係を意識しつつ、事業を継続します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	292	課	子ども課	係	子ども係	起案者	高橋智祥
						決裁者	杉浦多久己
事務事業名	民間保育所支援事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 3 子育て支援 2 保育サービス 1 保育施設等の拡充				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		15-10-15			
					総合計画以外の計画		子ども・子育て支援事業計画（H27～）			
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		法律などで実施が義務付けられているもの			
根拠法令	有	児童福祉法（第51条ほか）、安城市民間保育所補助金交付要綱								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	全部委託		委託先		その他(社会福祉法人)					
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		保育を必要とする児童が、			～になる		公立園と民間園で同等の保育サービスが受けられるようになる。		
事務事業の内容	市では、仕事などの事情により家庭で保育ができない児童を預かるために、公立保育所を運営するほか、民間の認可保育所12園(H24～)へ保育事業を委託しています。この委託に係る運営費については、国が定めた保育単価による運営委託費以外に、市は、民間保育所が公立保育所と同等の保育サービスを提供できるように、また、安定した経営の下で児童の受入体制を確保できるように、種々の経費に対し支援をしています。									
改善・対策の履歴	平成22年から、よさみ保育園における延長保育時間を22時まで（従来は20時まで）に延長しました。 平成22年度及び23年度に民間保育所の地震対策として、窓ガラスの飛散防止フィルムの貼付に対する補助を実施しました。 平成23年7月から第3子以降の保育料無料化を実施しました。 平成24年度に開園した4園に対し、支援を開始しました。これにより、この事業の対象となる園は12園となりました。 平成26年度に、定員増（平成27年度から+10人）を伴う園舎の増改築を行った子宝保育園に対し、工事費等の補助を実施しました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	862,327	830,006	951,001	891,281	1,219,205
財源計	855,397	822,446	942,811	883,091	1,211,015
財源の内訳	国庫支出金	197,299	220,201	207,407	223,766
	県支出金	195,716	130,699	154,958	305,761
	市債	0	0	0	0
	その他	128,885	143,608	141,300	132,650
	一般財源	333,497	327,938	439,146	548,838
受益者負担金	128,885	143,608	141,300	145,155	132,650
職員人件費 (従事職員数)	6,930 (1.10)	7,560 (1.20)	8,190 (1.30)	8,190 (1.30)	8,190 (1.30)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	民間保育所補助件数	見込	12.00	12.00	12.00	12.00
			実績	12.00	12.00	12.00	
	指標名 (単位)	対象園数(件数)	活動の総事業費(千円)	862,327	830,006	891,281	
			活動にかかるコスト(千円)	71,860.58	69,167.17	74,273.42	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	民間認可保育園入園待機児童数(人)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	・民間保育所の安定的な運営に資するため、入所人員の配分に配慮しました。その結果は以下のとおりです。							
	入所児童数(延べ人数)			平成22年度	実績6,176人(定員延人数5,760人)			
				平成23年度	実績6,203人(定員延人数5,820人)			
				平成24年度	実績6,528人(定員延人数6,840人)			
				平成25年度	実績7,218人(定員延人数7,200人)			
				平成26年度	実績7,091人(定員延人数7,200人)			

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	平成24年度に開園した4園の運営が安定したことに伴い、運営委託料の支出は前年度並みとなりました。一方で、施設の老朽化と定員増に対処するために増改築工事を行った1園に対する補助金支出の影響から、活動コストは上がることとなりました。平成27年度は、今本町地内に開園が予定される新園(定員160人)の施設整備費に係る補助などが実施されることから、さらにコストが上がると見込まれます。
	保育士の安定的な雇用確保のため、人件費に対する補助及び施設運営に対する補助を継続したことにより、必要な保育士を確保するとともに良質な保育サービスを提供することができました。また、施設整備に対する補助を実施することにより、児童の受入れ枠を増やすことに寄与しました(ただし、実際の定員増は平成27年度から)。その結果として、次のとおり保育所への待機児童数ゼロを維持することができました。
成果	保育所入所待機児童数の推移 平成21年度～平成26年度(目標:各年0名、実績:各年0名)

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
利用者が公立園と民間園で同等の保育サービスを受けられるよう、また、多様化する保育ニーズに対応した支援ができるよう、定期的に補助内容の見直しに努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	民間保育所については、多様化する保育ニーズに対応するため、それぞれの特徴を活かしつつ一時保育、延長保育などを始めとする特別保育への取組みを継続してもらいます。市は、これを適切に支援することにより、公立保育所とともに良質な保育サービスの維持に努めます。

事務事業調査

平成27年度

事業No	293	課	子ども課	係	子ども係	起案者	志村亮
						決裁者	杉浦多久己
事務事業名	認可外保育施設支援事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 3 子育て支援 2 保育サービス 2 保育内容の充実			予算科目(会計)		一般会計	
				予算科目(款・項・目)		15-10-15	
				総合計画以外の計画		子ども・子育て支援事業計画（H27～）	
				関連する総合計画の施策			
				性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	児童福祉法（第59条）、安城市認可外保育施設委託要綱					
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	直営		委託先				
実施期間	開始	平成13年度		経過	14年目	終了	期間
求める成果 （目的）	誰(受益者)が		保育を必要とするが認可保育所を利用できない児童が、			～になる	託児所などの認可外保育施設を円滑に利用できる。
事務事業の内容	安城市認可外保育施設委託要綱の基準に適合する託児所などの認可外保育施設へ助成を行うことにより、保育の充実を図ります。						
改善・対策の履歴	特にありません。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	630	630	1,130	630	1,130
財源計	0	0	500	0	500
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	500	0	500
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	保育が必要な児童を保育する施設への助成	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	施設数(か所)	活動の総事業費(千円)	630	630	630	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)	認可外保育所実地指導調査	見込	5.00	6.00	6.00	6.00
			実績	6.00	6.00	6.00	
	指標名 (単位)	施設数(か所)	活動の総事業費(千円)	630	630	630	
			活動にかかるコスト(千円)	105.00	105.00	105.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	公立保育園入園待機児童数(人)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	民間認可保育園入園待機児童数(人)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	法令の規定に従って届出のあった施設を子ども課窓口及び市ホームページで公表し、情報提供を行っています(事業所内保育所など、届出が義務付けられていない施設に関する情報を除きます。)。また、施設の利用については、市が関与しない当事者同士の契約によるものであり、認可保育所における手続とは異なることを周知しています。これにより、金銭的な援助以外の方法によっても認可外保育施設の利用をサポートしています。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	活動1については、本市における認可保育所の入所待機児童数がゼロであることから、市から積極的に保育を必要とする児童を認可外保育施設に案内する機会がない現状による結果です。一方、活動2については、待機児童の有無にかかわらず、事業を実施する上での基本的な活動としてのコストが発生します。
成果	①安城市認可外保育施設委託要綱の基準に適合する施設を把握できます。 ②届出済みの施設は定期的に県の実地指導調査を受けていますが、無届の施設は受けていません。したがって、活動により得た施設に関する情報を市民に提供することにより、行政の指導監督下でない施設を利用することで起こる事故等を未然に防ぐ効果があります。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
市内の認可外保育施設が、安心・安全に利用でき、かつ、信頼が持てる施設として機能するよう、県と協力し指導していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	入所待機児童「ゼロ」を維持することを優先しつつも、認可保育所に対応できない保育を必要とする児童が現れた場合は、県の指導基準が遵守されている認可外保育所を速やかに利用できるよう、活動を継続します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	294	課	子育て支援課	係	庶務係	起案者	天野亮介
						決裁者	神谷徹
事務事業名	保育園改修事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 3 子育て支援 2 保育サービス 1 保育施設等の拡充				予算科目(会計)		一般会計					
					予算科目(款・項・目)		15-10-15					
					総合計画以外の計画							
					関連する総合計画の施策							
					性質区分	市の内部事務事業						
根拠法令	無											
法定受託事務	無											
公約・議会答弁	無											
陳情・市民要望	無											
実施方法	直営		委託先									
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目		終了			期間		
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		保育に欠ける児童が				～になる		安心、安全な環境で保育サービスを受けられる。			
事務事業の内容	安全で快適な保育環境をつくるため、保育園の改修や設備を拡充します。											
改善・対策の履歴	特にありません。											

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	17,451	72,545	159,039	154,010	91,205
財源計	13,671	69,269	155,259	151,175	89,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	13,671	69,269	155,259	151,175
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,780 (0.60)	3,276 (0.52)	3,780 (0.60)	2,835 (0.45)	2,205 (0.35)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	安全対策等工事	見込	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	実施園(数)	活動の総事業費(千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)	維持補修工事	見込	1.00	14.00	16.00	7.00
			実績	1.00	14.00	13.00	
	指標名 (単位)	実施園(数)	活動の総事業費(千円)	11,540	64,836	146,820	
			活動にかかるコスト(千円)	11,540.00	4,631.14	11,293.85	
活動3	活動名 (活動内容)	遊具更新工事	見込	2.00	3.00	2.00	2.00
			実績	1.00	5.00	1.00	
	指標名 (単位)	更新園(数)	活動の総事業費(千円)	5,911	7,709	4,355	
			活動にかかるコスト(千円)	5,911.00	1,541.80	4,355.00	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	3.00	14.00	13.00	7.00
	維持修繕工事(数)			実績	2.00	16.00	14.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	達成	
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	園児の安全で快適な保育環境が確保され、園と保護者との信頼感が深まりました。 平成23年度 みその保育園・桜井保育園トイレ改修工事、遊具等更新工事2園 平成24年度 赤松保育園トイレ改修工事、みのわ保育園床等改修工事 平成25年度 トイレ改修工事10園、遊具等(パーゴラ含む)更新工事5園、錦保育園空調更新工事、駐車場整備工事2園 平成26年度 トイレ改修工事10園、西部保育園駐車場及び園庭整備工事、空調更新工事2園、みその保育園給食室改修工事

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	園舎及び遊具の老朽化に伴い、費用の増大が見込まれます。
成果	園児の安全で快適な保育環境が確保され、信頼される園の運営ができました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
より安全で安心な保育環境を整えていくとともに、効率的で効果的な整備計画を立てていきます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	老朽化、地域性などを考慮して計画的に整備、改修していきます。